

平成 22 年度第 1 回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	平成 22 年 7 月 8 日 (木) 午後 15 時 00 分 ~ 午後 17 時 30 分
場 所	佐倉市役所 議会棟 2 階 第 2 委員会室
出席者	< 委 員 > 湯川委員、関谷委員、魚住委員 < 事務局 > 契約検査室 < 担当課 > 資産管理経営室・下水道課・廃棄物対策課・指導課・市民課
【議事概要】	
議題 1 委員長の選出について 委員の互選により湯川委員を委員長に選出しました。	
議題 2 委員長職務代理者の指名について 委員長の指名により関谷委員を委員長職務代理者としました。	
議題 3 入札・契約の手続き委員長の選出について 平成 21 年 10 月から平成 22 年 3 月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。	
[主な質疑]	
(質問) 指名競争入札が 1 件も無いようですが、理由を教えてください。	
(回答) 平成 1 2 年に国のほうで公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律というものが制定されました。これは、全国各地で汚職や贈収賄などの不正があったことを受けまして、入札事務に公平性・透明性をとということから、まずは制限付き一般競争入札を導入していきなさいという流れになりました。 佐倉市としても、指名競争入札が不正、不公正の温床になるだろうという考えになりまして、平成 1 8 年度から原則としてすべての入札を制限付き一般競争入札で行っておりますので、指名競争入札は行っておりません。	
(質問) 制限付き一般競争入札の「制限」とはなんですか。	
(回答) 一般競争入札というのは誰でも入札に参加できるということですが、ご質問の「制限」とはまず、佐倉市入札参加資格者名簿に載っている業者しか佐倉市の入札に参加できませんということです。また、発注案件ごとに工事の名簿か物品の名簿かなどの登録している部門の制限、希望業種の制限、市内業者か県内業者かなど登録地区の制限、その会社の過去の履行実績の条件などのことです。これは国や県なども同じような形で入札を執行しています。	

(質問) 指名競争入札と一般競争入札の違いはどのようなところですか。

(回答) 一番大きな違いは、指名競争入札では発注者側である市が入札に参加させる業者を選ぶということ、それに対し一般競争入札では受注者側である業者が入札に参加するかどうかを選ぶということになります。一般競争入札は発注者であります市が入札への参加業者を選ばないということで、入札に参加できる業者に恣意的な要素が働かないということで、公平性や透明性を確保できると考えております。

(質問) 低入札調査委員会というのはどのような組織ですか。

(回答) 副市長を委員長、契約検査室長を副委員長とし、企画政策部長、総務部長、都市部長、土木部長、水道部長からなる委員会です。

(質問) 低入札調査をした案件のすべてが、契約を最低価格者と結んでいるようですが、契約を締結しないということはないのですか。

(回答) 入札する際に内訳書を添付してもらっていますが、調査になりますとさらに詳しく作業員に支払う労務費や原材料の仕入れ、または施工体制を報告させます。そこから合理的な内容かどうかを総合的に判断して適正な履行が確保できると判断できれば契約をするという流れになります。

議題4 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について

平成21年10月から22年3月までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した5件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。

[主な質疑内容]

案件 佐倉市立佐倉東中学校運動場改修工事(一般競争入札)

(質問) 参加している4者の入札金額がかなり近いところでまとまっているようですが、どのようにお考えですか。

(回答) 今回の案件については工種が少なく、単純な工事であります。そのため各業者の積算の段階で入札価格に差が出にくかったものと考えます。

(質問) 工事の時期についてですが、通常もこのような時期にやるのですか。

(回答) この工事については、12月議会での補正予算によって行ったため1月の発注となっています。

(質問) 予定価格と低入札調査基準価格が公表となっていますが、このような場合にはどちらかという低入札調査基準価格に近い入札価格で並ぶのではないかと私は思うのですが、今回は予定価格に近い価格で並んでいることについてどのようにお考えですか。

(回答) 予定価格に近くなるか、低入札調査基準価格に近くなるかについては、その工事の業種にもよると考えます。先ほども申しましたとおり今回は比較的単純な工事ですので、参加した業者が積算した結果、予定価格に近い入札価格になったものと考えます。また、時期的に人件費が上がっているのではないかと考えられます。

(質問) 人件費が上がっているのではないかとのことですが、もう少し詳しく説明をお願いします。

(回答) この時期はちょうど公共工事が重なってしまうので、業者としても少しでも人件費を上げないと作業員が集まらないということも考えられます。その部分で低入札調査基準価格よりも予定価格に近いところでまとまったと考えます。

(質問) 予定価格のギリギリのところでは並んでいますが、もっと多くの業者に参加してもらえるようなアクションは考えていますか。

(回答) 佐倉市では一般競争入札を行っているということで、積極的に特定の業者にアクションを起こすということはありません。

(質問) 他の入札でもいいのですが、入札参加業者の入札金額が予定価格側や低入札調査基準価格側などどちらかに偏るといえることはあるのですか。

(回答) 業種にもよりますが、どちらかに偏る傾向はあります。

(質問) 工法の指定などはありますか。

(回答) 指定していません。

案件 C B D 1 1 5 志津 1 4 号枝線実施設計業務委託 (一般競争入札)

(質問) 落札した業者は過去に実績がある会社ですか。

(回答) 佐倉市において数件の実績があります。

(質問) 予定価格に近い入札金額の業者がいるのに、なぜこれほど低い落札価格になったと考えていますか。

(回答) コンサルタント業務については他自治体においてもここ数年同様の低い落札率という状況が続いておりまして、この入札監視委員会でもたびたび取り上げられていると

ころですが、以前にも積算する際に地域の実情などを考慮した方が良いのではとの意見をいただいておりますが、年に数回の事業であり、佐倉市としての単価を調査し作成することなどに時間をかけるよりも全国的な積算単価を使った方が合理的と回答させていただいております。そのため、会社としての経営努力もあると思いますが、積算した結果として予定価格に対して低い落札価格になったと考えられます。

(質問) 入札をして、その後にその他の業務を随意契約でこの業者と結ぶということはあるですか。

(回答) そのようなことはしておりません。入札をするべきものは入札をしておりますし、随意契約の金額でも1者での特命随意契約はしておりません。

(質問) この会社は今回と同様の業務の実績はありますか。また会社の実績によって入札価格が低くなるということはないですか。

(回答) 入札時に会社の実績は求めておりませんので調べておりませんが、会社として実績が有るか無いかと入札価格は関係しないと考えます。

(説明) 他の自治体では制限付き一般競争入札に付す場合でも実績を要件に設けるところが多くあります。そのため佐倉市のように実績を求めない入札に参加し業務を完了させ、その会社としての実績にしたいということを伺ったことはあります。

また、指名競争入札を行っているところでは予定価格に対して85%くらいの価格でも落札できているのが現状です。

案件 平成22年度一般廃棄物・産業廃棄物最終処分場水質調査業務委託(一般競争入札)

(質問) 落札率がずいぶん低いですが、低入札調査の対象とはならないのか。

(回答) 委託業務ですと予定価格が2000万円を超えるものが低入札調査基準価格設定の対象ですので、この件については対象となっておりません。

(質問) 人件費の調査はしていますか。

(回答) 佐倉市ではどの契約においても同様ですが、人件費のみを改めて調査するということはありません。

(質問) 入札価格が軒並み低いようですが、予定価格とのギャップをどのようにお考えですか。

(回答) 他市での同様の業務委託の入札結果を見ましても、今回の佐倉市の案件と同様に低い落札率という傾向が見られます。

(質問) 内訳書などは確認していますか。

(回答) 内訳書は開札した際に確認をしております。

(質問) 技術的に考えてこの入札金額はあり得るのでしょうか。

(回答) 他の市などを見ても低い落札価格はみられますので傾向としてあるのではと考えております。また、人的役務というよりはスケールメリットで利益を上げるという考えもあるのかと考えます。

(質問) 積算の方法は人件費ですか業務内容の項目ですか。

(回答) 業務における項目の金額を積み上げて積算をしています

(質問) 昨年度以前の落札率もこのような状況だったのでしょうか。

(回答) 20年度は33%くらい、19年度は38%くらい、18年度は43%くらいの落札率となっております。

案件 平成22・23年度佐倉地区学校給食業務委託(一般競争入札)

(質問) この金額はほぼ人件費ですか。材料代も含んでいますか。

(回答) ほぼ人件費となります。材料は学校が用意したものを使います。

(質問) 全部で5件給食業務委託がありますが、内容はどれも同じですか。

(回答) 5件とも業務内容は同じです。

(質問) 根郷・和田・弥富地区学校給食業務委託は84.1%、臼井・千代田地区は92.9%、志津北部地区は97.5%などとなっていますが、この佐倉地区は99.7%とほぼ予定価格と同額の入札金額となっていますが、どのようにお考えですか。

(回答) 落札率の高い、低いが入札の結果としかお答えできませんが、たとえば規模のとても大きな業者ですと複数の案件に参加して複数落札をしても業務が履行できますが、今回の参加業者を見ますと複数に参加申請はしても入札は1件に絞ったという傾向が見られます。この地区はどうしても取りたいという業者の考えなどもあるのかなと思います。

(質問) 雇われる方の人数や資格は設けているのですか。

(回答) 委託業務ですので人数の指定はしていません。ただし数百食という調理をしますので、各学校のチーフの役割をする方については栄養士として3年以上かつ学校の給食業務を3年以上経験している方をお願いしています。

(質問) 辞退している業者が多いようですが、どのようにお考えですか。

(回答) 佐倉市の入札参加資格者名簿の上では給食業務に10者程度載っています。先ほども申しましたが、大手の業者であれば複数の案件を履行することも可能ですが、今回参加業者の中には複数の案件に参加申請はしたものの一つの案件に絞り入札したという業者もいます。辞退については開札が執行される前までできますので、辞退した業者が多くなったと考えます。

(質問) これまでと落札率に変化はありますか。

(回答) 前回の平成19年の入札から地区割を変えて入札を行っています。それ以前はもう少し小さなまとまりで11件でおこなっておりました。そのため落札率の比較というのは難しいのですが、ご参考に2年前の落札率ですが、佐倉地区が98.8%、根郷・和田・弥富地区が97.1%、臼井・千代田地区が74.9%、志津北部地区が98.1%、志津南部地区が95.9%となっております。

案件 窓口業務等委託(随意契約)

(質問) 今回の業務に志津出張所が含まれていますが、ほかに出張所はありますか。

(回答) 市内には志津のほかに、4か所あります。

(質問) そのうち志津出張所のみ委託しているのはどのような理由ですか。

(回答) 市内の出張所の中で一番大きいのが志津出張所のため、今回試行として志津出張所を業務場所に入れていきます。

(質問) 積算の金額はどのように決めていますか。また、予定価格の公表はしていたのですか。

(回答) 市の臨時職員の時給と県の積算基準の時給の中間をとって積算しています。また、予定価格については公表しておりませんが、予算書がいろいろなところで見れますので業者の方はそちらを見ていると考えています。

(質問) 提案書に金額ははいっていますか。

(回答) 入っています。プロポーザル方式ですので金額だけを見るのではなくその他の部分の提案内容をみて検討委員会で決定しています。

(質問) 検討委員会は組織化されているのですか。

(回答) していません。案件ごとに検討委員会を設置しメンバーなどを決めています。

その他

平成 22 年 4 月から佐倉市水道部発注の入札案件についても佐倉市役所契約検査室が事務を行っていることから、次回以降の入札監視委員会に水道部の案件を加えるか否かを審議し、水道部の案件についても本入札監視委員会の対象とすることが決定しました。

以上